

ブラック職場、学校。

小中学校の先生のなり手がなく、教育崩壊がすすむと云われている。

当たり前である。夕方三時四時から夜の八時・九時まで、部活動を指導して、残業代もでない。こんなブラック企業に誰が就職を希望するだろうか。

いまの教育崩壊を直すには、1つしかない。先生の部活指導をやめればよい。

どうして専任の先生が、部活動指導をするのか、部活があるからである。

文科省が部活を続けたければ、先生以外の専門家をお願いする。どうしてもやりたいという先生だけをお願いする。というしかない。

例えば小学校の先生は、算数・国語・理科・社会を担当する。それ以外に、担任を持つ、体育を見る。それも、音楽、美術などの専任の先生がいる学校である。親とも接触しなければならず、PTAの役員にもなる。最近では、英語も教えなさい、コンピューターのプログラムも教えよ、となった。

こんなことをしたら、先生は殺されてしまう。それに教特法により、残業代がでない。

学校は、先生に部活の顧問になることを強制できない。学校が生徒に部活動せよと強制できない。